

# 平成20年度後期 情報検定

<実施 平成20年12月14日（日）>

## 1 級

(説明時間 13 : 20 ~ 13 : 30)

(試験時間 13 : 30 ~ 14 : 30)

- ・試験問題は試験開始の合図があるまで開かないでください。
- ・解答用紙（マークシート）への必要事項の記入は、試験開始の合図と同時に行いますので、それまで伏せておいてください。
- ・試験開始の合図の後、次のページを開いてください。＜受験上の注意＞が記載されています。必ず目を通してから解答を始めてください。
- ・試験問題は、すべてマークシート方式です。正解と思われるものを1つ選び、解答欄の○をHBの黒鉛筆でぬりつぶしてください。2つ以上ぬりつぶすと、不正解になります。
- ・辞書、参考書類の使用および筆記用具の貸し借りは一切禁止です。
- ・電卓の使用が認められます。ただし、下記の機種については使用が認められません。

### <使用を認めない電卓>

1. 電池式（太陽電池を含む）以外の電卓
2. 文字表示領域が複数行ある電卓（計算状態表示の一行は含まない）
3. プログラムを組み込む機能がある電卓
4. 電卓が主たる機能ではないもの
  - \* パソコン（電子メール専用機等を含む）、携帯電話（PHS）、ポケットベル、電子手帳、電子メモ、電子辞書、翻訳機能付き電卓、音声応答のある電卓、電卓付腕時計等
5. その他試験監督者が不適切と認めるもの

## ＜受験上の注意＞

1. この試験問題は17ページあります。ページ数を確認してください。  
乱丁等がある場合は、手をあげて試験監督者に合図してください。  
※問題を読みやすくするために空白ページを設けている場合があります。
2. 解答用紙（マークシート）に、受験者氏名・受験番号を記入し、受験番号下欄の数字をぬりつぶしてください。正しく記入されていない場合は、採点されませんので十分注意してください。
3. 試験問題についての質問には、一切答えられません。自分で判断して解答してください。
4. 試験中の筆記用具の貸し借りは一切禁止します。筆記用具が破損等により使用不能となった場合は、手をあげて試験監督者に合図してください。
5. 試験を開始してから30分以内は途中退出できません。30分経過後退出する場合は、もう一度、受験番号・マーク・氏名が記載されているか確認して退出してください。なお、試験終了5分前の合図以降は退出できません。試験問題は各自お持ち帰りください。
6. 合否通知の発送は平成21年1月下旬の予定です。
  - ①団体受験された方は、団体経由で合否の通知をいたします。
  - ②個人受験の方は、受験票に記載されている住所に郵送で合否の通知をいたします。
  - ③合否等の結果についての電話・手紙等でのお問い合わせには、一切応じられませんので、ご了承ください。

問題を読みやすくするために、  
このページは空白にしてあります。

問題 1 次の文字コードに関する記述中の [ ] に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

文字コードは、文字や記号をコンピュータで扱うために 1 文字に一つずつ割り当てられた数値のことである。欧米などで使われる英数字の文字コードは 1 バイト (8 ビット) で表現されるが、最大でも [ (1) ] 種類しか表現できず、漢字に対応することはできない。そこで、日本や韓国、中国などではそれぞれ独自に 2 バイト文字のコード体系を定めている。

英数字のみを扱う 1 バイトの文字コードとしては、ANSI が策定した [ (2) ] が多く使われている。これは 7 ビットで表現されるが、コンピュータ内部では 8 ビット単位で表現するので、空いている部分はメーカーや各国で異なる文字を割り当てており、日本ではカナ文字を割り当てている。

また、IBM が策定した [ (3) ] は、大型汎用コンピュータ用の 1 バイトの文字コードとして使われている。

日本語を表現するためには [ (4) ]、[ (5) ]、[ (6) ]、[ (7) ] が使われている。

[ (4) ] は JIS (日本工業規格) で規格化されたもので、1 バイト文字と 2 バイト文字の切り替えはエスケープシーケンスを使う。

[ (5) ] は AT&T で策定された規格が基となり、その後、主に UNIX システム上で日本語を表すために使われている。

[ (6) ] は [ (4) ] の 2 バイト文字コードが使われていない領域に移動することで、1 バイト文字と 2 バイト文字を切り替えるためにエスケープシーケンスを使うことなく同時に混在して扱えるようにしたものである。

[ (7) ] は、世界の主要な言語を 2 バイトまたは 4 バイトの統一文字コード体系として規格化されたものである。

(1) の解答群

ア. 64                      イ. 127                      ウ. 256                      エ. 512

(2) ~ (7) の解答群

ア. ASCII                      イ. EBCDIC                      ウ. JIS コード  
エ. Unicode                      オ. シフト JIS コード                      カ. 日本語 EUC

問題2 次のビジネスの進め方に関する記述を読み、各設問に答えよ。

<設問1> ビジネスの進め方にPDCAサイクルがある。PDCAに関する説明の組み合わせとして正しいものを(1)の解答群から選べ。

[PDCAの説明]

- ① 計画に基づいて業務を実施する。
- ② 業務を実施した結果、計画と合わない点や、実施して問題が生じた点などを改善し次のサイクルへ必要な処置をとる。
- ③ 従来の実績や予測を基に業務計画を立てる。
- ④ 業務の実施に伴い、計画に沿って行われているか点検し、評価する。

(1) の解答群

	P	D	C	A
ア	①	③	④	②
イ	②	①	③	④
ウ	③	①	②	④
エ	③	①	④	②
オ	③	④	②	①

ビジネスを進める上での第一歩は計画を立てることである。計画を立てる時は、情報を収集し現状を分析しなければならない。そこで、収集した情報を整理・分析する技法が各種考えられている。

<設問2> 次の情報の整理・分析技法に関する記述を読み、各問に答えよ。

・ 散布図

2種類のデータをx-y座標にプロットした図を散布図という。散布図ではデータを図中にプロットし、その点の散らばり方で、2種類のデータの相関関係を調べる方法である。散布図が図1のようなとき、相関関係について正しい記述を(2)の解答群から選べ。

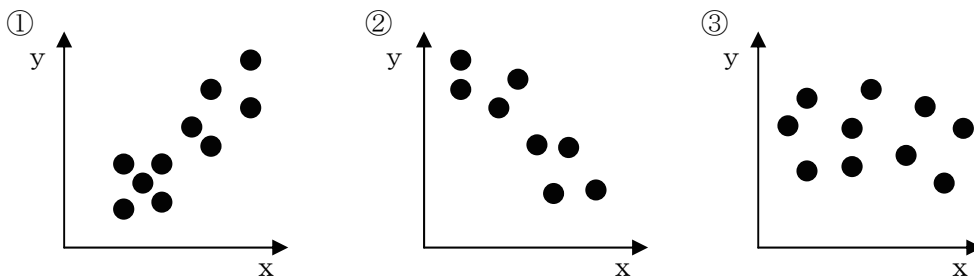


図1 散布図

## (2) の解答群

- ア. ①～③すべてに相関関係がある。
- イ. ①は相関関係があるが、②と③は相関関係がない。
- ウ. ①は正の相関関係があり、②は負の相関関係がある。③は相関関係がない。
- エ. 相関関係は③が一番強い。

### ・パレート図

項目ごとに集計した数が多い順に棒グラフを作成し、その累積を示した折れ線グラフを重ねて表示した図である。例えば、取り扱う商品の販売数量に関するパレート図は図2のようになる。

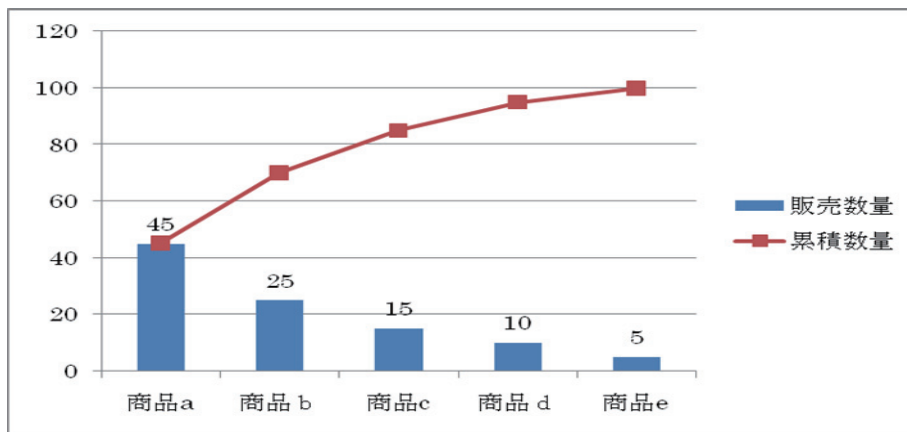


図2 パレート図

商品管理を行う際、パレート図を用いて ABC 分析を行うことがある。ABC 分析では累積の比率で 70% までの商品を A 群、70%～90% までの商品を B 群、90%～100% までの商品を C 群とする。商品管理では A 群に属する商品を最も重要度が高い商品として管理する。商品の販売数量が図2のようなとき、A 群に属する商品を (3) の解答群から選べ。ここで、すべての商品の販売数量合計は 100 個である。

## (3) の解答群

- ア. すべての商品
- イ. 商品 a と商品 b
- ウ. 商品 b と商品 c
- エ. 商品 a, 商品 b, 商品 c

### ・管理図

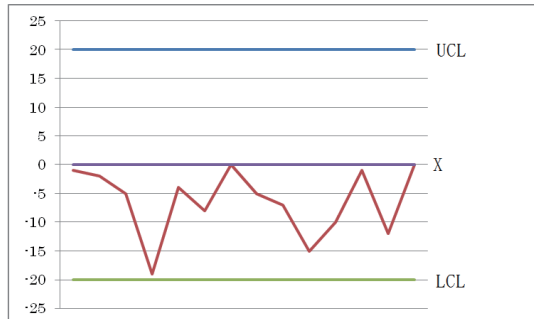
管理図は製品の製造過程などで特性値の変動をプロットし、工程の異常の有無を判断する図法である。図の中心に平均値を表す線（中心線）をおき、許容範囲の限界に上方管理限界線と下方管理限界線をおく。(4) の解答群から正常と予測できるものを選べ。

ここで、図中の記号は次のとおりとする。

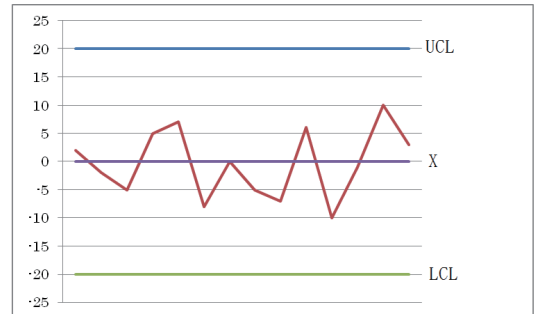
X：中心線，UCL：上方管理限界線，LCL：下方管理限界線

#### (4) の解答群

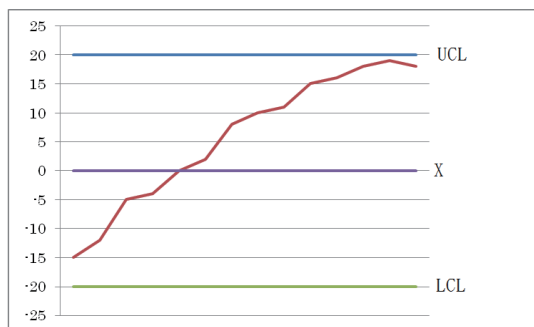
ア.



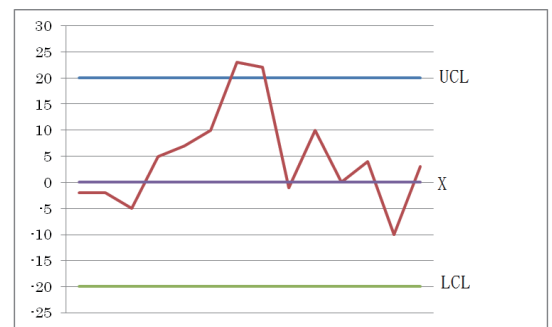
イ.



ウ.



エ.



#### ・ブレインストーミング

グループであるテーマについて自由に意見を出し合うことで、新しい発想やアイデアを作り出すこと。このときに適用されるルールについて、不適切な記述を(5)の解答群から選べ。

#### (5) の解答群

- ア. 自由に意見を出すといっても、他人の意見に便乗することはしない。
- イ. 他人の意見を批判しない。
- ウ. 意見の質よりも、量を多く出すようにする。
- エ. 議論の誘導などはせず、自由奔放に意見を出し合う。

問題3 次の RAID に関する設問に答えよ。

<設問1> 次の RAID の構成に関する記述中の  に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

RAID とは複数のハードディスクを用いて、アクセス速度の高速化や信頼性の向上を図る技術である。

一般的に多く使われる RAID の構成には  (1) ,  (2) ,  (3)  がある。

(1)  は複数のディスクに均等にデータを振り分けて記録することで、データのアクセス速度を高速化したものである (図1)。ただし、1台のディスクが故障した場合は全てのデータにアクセスができなくなるので、信頼性の向上は期待できない。

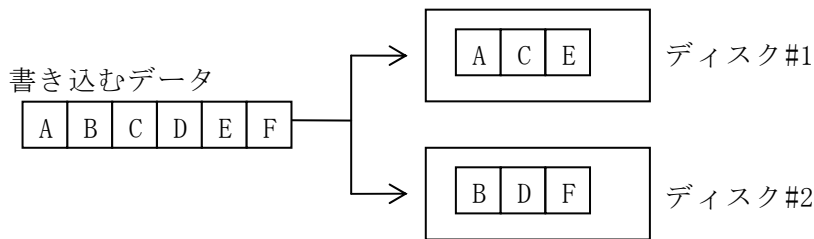


図1

(2)  は複数のディスクに全く同じデータを同時に書き込むことで信頼性の向上を実現するものである (図2)。1台のディスクが故障しても、もう1台のディスクからデータを読み出せるため、システムは稼働し続けることができる。ただし、アクセス速度の向上は期待できず、記憶容量も1台のディスク容量と同じになる。

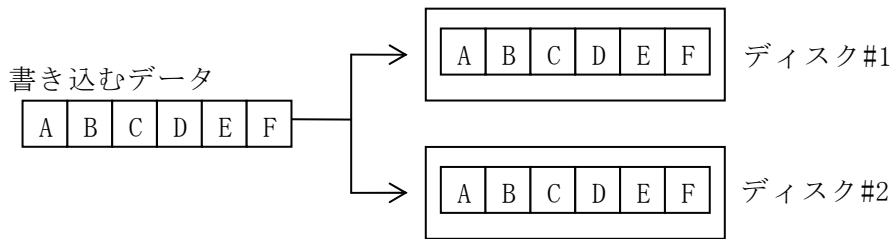


図2

(3)  は最少3台で構成し、データからパリティ情報を生成し、データとパリティ情報を複数のハードディスクに振り分けて格納することで、アクセス速度と信頼性の向上を目指したシステムである (図3)。1台のハードディスクに障害が発生しても、別のハードディスクに記憶されたパリティ情報とデータを用いてデータの復旧が可能となる。



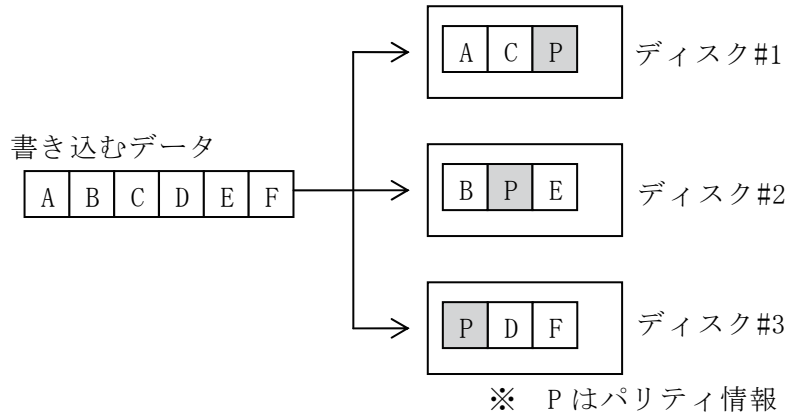


図 3

(1) ~ (3) の解答群

- ア. RAID0 (ストライピング)      イ. RAID1 (ミラーリング)      ウ. RAID2  
 エ. RAID3      オ. RAID4      カ. RAID5

<設問 2> 次の RAID の容量に関する記述を読み表中の  に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。解答は重複してもかまわない。

1 台のハードディスクの容量が 30G バイトの場合、図 1 ~ 図 3 の各構成で記録できる冗長なデータやパリティ情報を除いた実際のデータ量(実データ量)を表 1 に示す。

表 1 実データ量

構成	総ディスク容量
図 1	<input type="text"/> (4) バイト
図 2	<input type="text"/> (5) バイト
図 3	<input type="text"/> (6) バイト

(4) ~ (6) の解答群

- ア. 30G      イ. 45G      ウ. 60G  
 エ. 75G      オ. 90G      カ. 120G

#### 問題4 次のオペレーティングシステムに関する設問に答えよ。

<設問1> 次のパソコンの起動に関する記述中の□□□□に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

オペレーティングシステム（以下 OS という）は、コンピュータのハードウェアとソフトウェアを総合的に管理し、アプリケーションソフトから共通して利用される基本的な機能を供給するなどして、利用者の利便性を高めるソフトウェアである。パソコン用の OS としては、Windows, MacOS, Linux などの OS が主流である。

コンピュータを起動することを□□(1)と呼ぶ。□□(1)は次のような手順で行われる。

- ①電源を入れてコンピュータを起動すると、まずマザーボード上に装着されたフラッシュメモリなどから□□(2)が起動され、インタフェースやディスクドライブ等が制御可能な状態になる。
- ②ハードディスク内のどの領域(パーティション)から OS を起動するか選択され、そのパーティションのブートセクタと呼ばれる領域に記録されたプログラムを呼び出す。
- ③ブートセクタに記録されたプログラムはディスクから OS をメモリに読み込んで起動し、コンピュータが操作可能な状態になる。

#### (1), (2) の解答群

- ア. イベントドリブン      イ. コマンド      ウ. GUI      エ. ブート  
オ. BIOS      カ. インストール

<設問2> 次のプロセス管理に関する記述中の□□□□に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

1台のパソコンで音楽を楽しみながら同時にワープロソフトを利用する場合、OS がそれぞれの処理（プロセス、またはタスクと呼ぶ）を並行して行えるように管理している。これをプロセス管理という。

一つの CPU で見かけ上、同時に複数のプロセスを稼働させることを□□(3)と呼ぶ。□□(3)は、CPU の処理時間を非常に短い単位に分割し、複数のプロセスに順番に割り当てることによって実現される。

#### (3) の解答群

- ア. 再入可能プログラム      イ. 再帰処理  
ウ. オブジェクト指向プログラミング      エ. マルチプロセッシング  
オ. セカンドプロセス

<設問 3 > 次の記憶管理に関する記述中の  に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

記憶管理では主記憶装置を複数のプログラムで共有するため、効率的な記憶領域の割当てや解放を行う。

主記憶装置の容量は有限であるため複数のプログラムを同時にロードするとすぐに記憶容量が不足してしまう。そこでプログラムを数キロバイトのブロック（一般にこれをページと呼ぶ）に分割し、使うページだけを主記憶装置（実記憶という）に置く。当面使わないページはハードディスク上に置き、必要になった時点で実記憶に転送する。これをページインという。反対に、使わない実記憶上のページをハードディスクに追い出すことをページアウトという。このような方法で、大きなプログラムを実行できる仕組みを  (4) システムという。

#### (4) の解答群

ア. DAT    イ. 仮想記憶    ウ. FIFO    エ. LRU    オ. ページテーブル

<設問 4 > 次のファイル管理に関する記述中の  に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

ファイル管理では、ファイルやディレクトリ（フォルダ）を階層的に管理したり、ファイルを保護したりするためにアクセス権の制御などを行う。

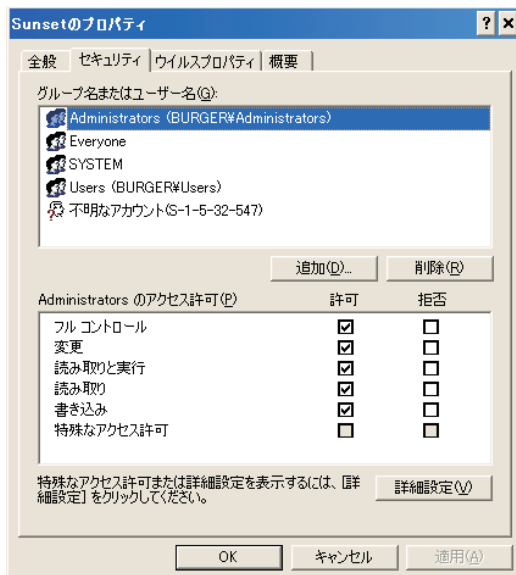


図 1 Windows のアクセス制御

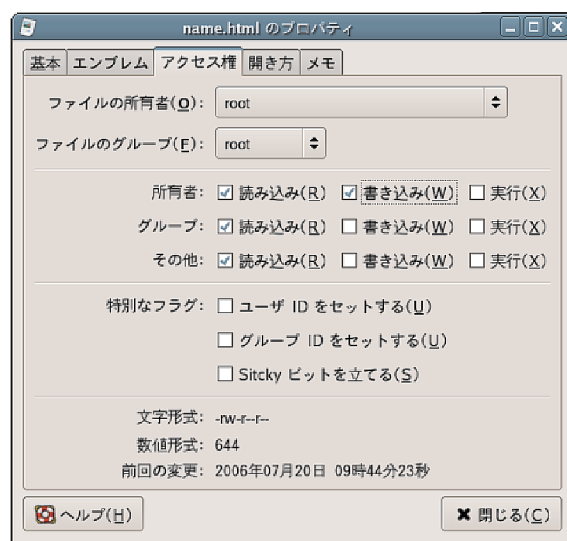


図 2 Linux のアクセス制御

Windows ではユーザごと、グループごとに細かく権限の設定ができる（図 1）。Linux などの UNIX 系 OS においてはアクセス権のことをパーミッションと呼び、ファイルやディレクトリに対して読み込み権、書き込み権、実行権などを設定している（図 2）。実行

権とは CGI スクリプト、シェルスクリプトやプログラムなどを実行する権限のことである。そして、「所有者」「グループ」「その他」の利用者に分けてそれぞれのパーミッションが設定できる。

例えば、Web ページを記述した HTML ファイルを格納するディレクトリのパーミッションは、と設定されているのが一般的である。また、CGI スクリプトをアップロードする際には、CGI スクリプトファイルに対してはというパーミッションを設定するとよい。

#### (5) の解答群

- ア. 書込み権をすべてのユーザに与え、読み込み権は所有者だけに与える
- イ. 読み込み権をすべてのユーザに与え、書込み権は所有者とグループに与える
- ウ. 読み込み権をすべてのユーザに与え、書込み権は所有者だけに与える

#### (6) の解答群

- ア. 書込み権と実行権をすべてのユーザに与え、読み込み権は所有者だけに与える
- イ. 読み込み権と実行権をすべてのユーザに与え、書込み権は所有者だけに与える
- ウ. 読み込み権と書込み権をすべてのユーザに与え、実行権は所有者だけに与える

<設問 5 > 次のユーザ管理に関する記述中のに入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

ユーザ管理では、ユーザアカウントやユーザグループの作成と削除、それぞれのユーザのアクセス権の設定などを行う。

複数のユーザがコンピュータを共有するの OS では、使用時にログインを行わせ、ユーザ ID とパスワードによって正当なユーザであるかどうかの認証を行うのが一般的である。

#### (7) の解答群

- ア. スーパーユーザ
- イ. システムアドミニストレータ
- ウ. シングルユーザ
- エ. マルチユーザ
- オ. ゲストユーザ

問題5 次のIPアドレスに関する記述を読み、設問に答えよ。

インターネットに接続しているコンピュータには IP アドレスが割り当てられている。現在一般的な IPv4 (IP バージョン 4) では 32 ビットで IP アドレスを表している。IP アドレスは 32 ビットを 8 ビットずつに分け、例えば、172.16.23.147 のようにそれぞれ 10 進数で表す。

IP アドレスは数字で記述されているので、わかりにくい。そこで、(a) わかりやすい文字列で置き換えたのがドメイン名である。また、IPv4 の IP アドレスはネットワークアドレス部とホストアドレス部から構成されており、ルータによってパケットが中継されるときはネットワークアドレス部が参照される。ホストアドレス部は該当するネットワーク内のホストの識別に用いられ、(b) 一つのネットワーク内に複数のサブネットを構築する場合はホストアドレス部をさらに分割する。

<設問1> 下線 (a) で、IP アドレスとドメイン名を相互変換することを名前解決という。名前解決で用いられる仕組みを解答群から選べ。

(1) の解答群

- ア. DNS                      イ. DHCP                      ウ. HTTP                      エ. FTP

<設問2> 下線 (b) のサブネットに関する次の記述中の  に入れるべき適切な値または字句を解答群から選べ。

IPv4 の IP アドレスはネットワークアドレス部とホストアドレス部に分かれて、それぞれに割り当てられるビット数によってクラス A, B, C の 3 種類のクラスがある。比較的小規模のネットワークにはクラス C が割り当てられる。クラス C ではネットワークアドレス部とホストアドレス部は図 1 のようになる。

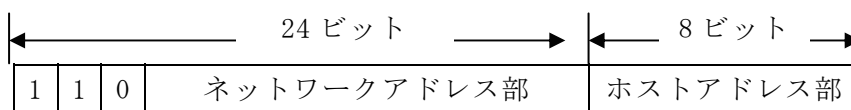


図1 クラスCのIPアドレス

先頭の 110 はクラス C を表している。クラス A は先頭の 1 ビットが 0 で、クラス B は先頭の 2 ビットが 10 となる。

ここで、クラス C の IP アドレスを考える。ホストアドレス部がすべて 0 の IP アドレスはネットワークアドレスを表し、すべて 1 の IP アドレスはブロードキャストアドレスを表す。ブロードキャストアドレスはネットワーク内のすべての装置に一斉送信するとき使用される。この 2 つのアドレスはホストアドレスに割り当てることができない。したがって、クラス C では最大  (2) 台のホストを接続できることになる。

ルータがパケットを中継する時、パケットの宛先 IP アドレスと送信元 IP アドレス

を比較する。ネットワークアドレス部が同じなら他のルータに中継しない。ネットワークアドレス部を比較する時、サブネットマスクを使用する。サブネットマスクはホストアドレス部がすべて0で、それ以外はすべて1である。したがって、クラスCで、サブネット分割を行わないときのサブネットマスクは(3)となる。IPアドレスとサブネットマスクの論理積をとると、図2のようにネットワークアドレス部のみ取り出すことができる。

IP アドレス	11000000	10101000	01111100	00010111
サブネットマスク	(3)			
論理積の結果	11000000	10101000	01111100	00000000

図2 クラスCのネットワークアドレスの取り出し例

しかし、小規模のネットワークではホスト台数が少なく、ネットワーク内をさらに複数のネットワーク(サブネットワーク)に分けて管理する場合が多い。ここで、クラスCで構築された1つのネットワークを5つのサブネットに分割するとき、サブネットを表すためには最低(4)ビット必要になるので、ホストアドレス部の8ビットのうち上位(4)ビットをサブネットを表すためのビットとする。このときのサブネットマスクは(5)となる。

ここで、あるパケットの送信元IPアドレス、宛先IPアドレス、サブネットマスクが図3ように設定されていたとき、(6)といえる

	ホストアドレス					
	← サブネットワークアドレス →					
	← ネットワークアドレス →				↔	
送信元 IP アドレス	11000000	10101000	01111100	101	00011	
宛先 IP アドレス	11000000	10101000	01111100	110	00010	
サブネットマスク	11111111	11111111	11111111	111	00000	

図3 IPアドレスとサブネットマスクの例

(2) , (4) の解答群

- ア. 2                      イ. 3                      ウ. 4                      エ. 5  
 オ. 126                      カ. 128                      キ. 254                      ク. 256

(3) の解答群

- ア. 11111111 11111111 11111111 00000000  
 イ. 11111111 11111111 11111111 11100000  
 ウ. 11111111 11111111 11111111 11111100  
 エ. 11111111 11111111 11111111 11111111

(5) の解答群

ア. 255.255.0.0

イ. 255.255.255.0

ウ. 255.255.255.194

エ. 255.255.255.224

(6) の解答群

ア. 送信元と宛先のサブネットアドレスは同じである

イ. 送信元と宛先のサブネットアドレスは異なる

ウ. 送信元と宛先のホストアドレスは同じである

問題6 次のネットワーク技術を利用したシステムや利用形態に関する記述を読み、最も関係の深い字句を解答群から選べ。

- (1) 伝票や書類などを電子データ化して企業間の取引を電子決済することで、電子データ交換ともいう。
- (2) TCP/IP を利用したネットワークを用い、音声を送受信する技術。社内 LAN を使った内線電話やインターネット電話などに応用されている。
- (3) 見たいときに見たいビデオを見ることができるサービス。コンピュータを利用する方法と STB (Set Top Box) を利用して一般のテレビで見ることのできるものがある。
- (4) ネットワークを利用して契約や決済を行う取引形態。一般消費者が直接店舗に向かなくても自宅などから商品の購入が可能になる。
- (5) コールセンター等で、電話や FAX に応答するだけでなく、寄せられた情報を顧客の購入履歴などの情報とともにコンピュータを使って、統合的に管理し、顧客満足度を向上させるシステム。

(1) ~ (5) の解答群

- ア. CAE (Computer Aided Engineering)
- イ. CMS (Contents Management System)
- ウ. CTI (Computer Telephony Integration)
- エ. BtoC (Business to Consumer)
- オ. EDI (Electronic Data Interchange)
- カ. EOS (Electronic Ordering System)
- キ. VOD (Video On Demand)
- ク. VoIP (Voice over Internet Protocol)



問題7 次の知的財産権に関する設問に答えよ。

<設問1> 次の著作権に関する記述を読み各問に答えよ。

知的財産権のうち著作権は、次のような権利によって構成されている。

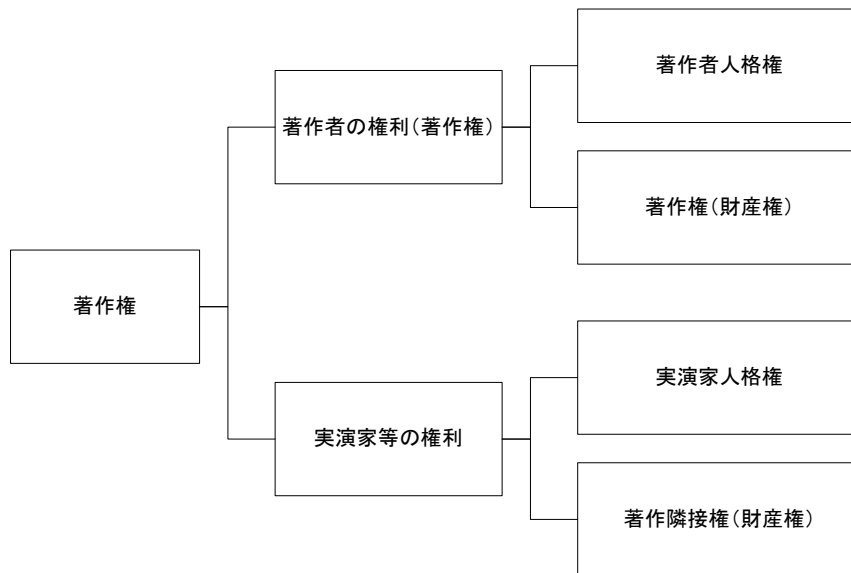


図1 著作権の構成

著作者の権利（著作権）とは、(a) 著作物を創作した著作者に与えられる権利で、このうち著作者人格権とは、人格的利益（精神的に傷つけられないこと）を保護するためのものであり、著作者に(b) いくつかの権利を与えている。一方、著作権（財産権）は、複製権や公衆送信権等の財産的利益を守るために与えられる権利である。

また実演家等の権利とは、著作物を伝達する者に与えられる権利で、著作者の権利と同様に実演家人格権と著作隣接権（財産権）がある。

(1) 下線部 (a) の著作物に該当するものはどれか。適切なものを (1) の解答群から選べ。

(1) の解答群

- ア. 「東京タワーの高さ」や「東京ドームの面積」といったデータ
- イ. 車やテレビなどの工業製品
- ウ. プログラムのアルゴリズム
- エ. ホームページ上で公開している日記

(2) 下線部 (b) のいくつかの権利に当てはまらない権利を (2) の解答群から選べ。

(2) の解答群

- ア. まだ公表されていない自分の著作物について、それを公表するかしないかを決定できる権利 (公表権)
- イ. 自分の著作物を公表する時に、著作者名を公表するかしないか、表示すれば実名か変名 (ペンネーム等) かなどを決定できる権利 (氏名表示権)
- ウ. 自分の著作物の内容や題号を、自分の意に反して無断で改変されない権利 (同一性保持権)
- エ. 著作者人格権を他人に譲渡したり相続したりすることのできる権利 (譲渡権)

(3) 次の著作権に関する記述のうち、不適切なものを選べ。

(3) の解答群

- ア. コンピュータプログラムは著作権でも保護されている。
- イ. 著作権は出願して登録するという一定の手続きがなされた時点で権利が発生する。
- ウ. 著作権は原則として、著作者の死後 50 年間有効である。
- エ. 他人から受け取った電子メールを無断で第三者に転送したり、ホームページ上で公開することも著作権の侵害になることがある。

<設問 2> 次の記述は知的財産基本法の第二条の条文の一部である。これを読み、各問に答えよ。

第二条 この法律で「知的財産」とは、発明、考案、植物の新品種、意匠、著作物その他の人間の創造的活動により生み出されるもの（発見又は解明がされた自然の法則又は現象であって、産業上の利用可能性があるものを含む。）、商標、商号その他事業活動に用いられる商品又は役務を表示するもの及び営業秘密その他の事業活動に有用な技術上又は営業上の情報をいう。

2 この法律で「知的財産権」とは、特許権、実用新案権、育成者権、意匠権、著作権、商標権<sup>(a)</sup>その他の知的財産に関して法令により定められた権利又は法律上保護される利益に係る権利をいう。

(4) 下線部 (c) として代表的なものに不正競争防止法がある。下記のそれぞれの行為についてこの法律で定義されている不正競争行為に該当するものを全て選択している解答群を選べ。

- ① 大手 Web サイトと類似する紛らわしい名前で、類似の Web サイトを開設する行為
- ② デジタルコンテンツのコピー防止技術が無効にする機器を提供する行為
- ③ 広く知られている商品名と類似の商品名を使用する行為
- ④ 他の会社内で秘密に保管していた設計図を取得する行為

(4) の解答群

ア. ①と②と④

イ. ①と③と④

ウ. ②と③と④

エ. ①と②と③と④

(5) 次の知的財産権のうち、一般に産業財産権（工業所有権）に該当しないものを解答群から選べ。

(5) の解答群

ア. 意匠権

イ. 商標権

ウ. 特許権

エ. 著作権

